

# 夏瀬の森

## だより

平成三十年十月二十五日 第八十一号  
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

### 我が郷の

### 優しい絆

### 秋祭り

一週間ほど前から天気予報では雲と小さな傘マークが出ていた十月十一日。神職がてるてる坊主にまで懇願したお天気はぎりぎり踏ん張って下さり、秋祭りを最後まで無事にやりおこなうことができました。



しを担いで田殿の郷を練り歩いてくれました。

### 笛と太鼓が盛り上げる

今年も三十五名の子どもたちが笛と太鼓を披露し、お渡りを盛り上げてくれました。六年目の子どもだんじり。すっかり実力もつき大谷区の青年



さんのお世話になった山車の飾りにも負けない力を披露してくれました。もちろんだ地区の山車は熟練の技を



奉納して下さい、氏神様をはじめ田殿の郷全体を素敵に雰囲気包んでくれました。

### キレイキレイの三面獅子舞



さて、今年の三面は尾中区。夏前からの練習の成果は、オニワニと獅子の動きがぴったりと合った、見ていて安心感のあるキレイキレイの芸でした。尾中区も独特の芸を持つており、色々な芸を見ることができるとも楽しみます。

### 笑顔の餅投げ

午後四時には大谷の下の宮の御旅所にて御輿の前で祈禱を行い、三餅投げを行いました。今年も弁天堂様がたくさんのお餅とお菓子を奉納して下さいました。そして区長会様もさらに盛り上げようとお餅とお菓子を奉納して下さいました。下の宮の境内は大勢の人で埋め尽くされました。御奉納ありがとうございました。



### 力強く進みましょう

いくつもの台風で被害もあった年でしたが、負けずに力強く動いていく田殿の郷を氏神様に楽しみなながら見ていただくことができ、また大きな力をいただくことができました。総代様、敬神婦人会様をはじめ氏子の皆さま方に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

### 芸能保存会より 御礼申し上げます

尾中区の三面獅子舞、尾中区、角区、長田区、上中島区、大谷区、賢区、山車に對しまして、多くの声援を賜りました。本祝儀を賜りました。本



来ならば個別にお礼を申し上げねばならないところではございませんが大変失礼ではございますが本を書き持ってお礼に代えさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。



## 三年後からの三面奉納

秋祭りに奉納していただいている三面(獅子舞)は、来年度の大谷区、再来年度の賢区までは一番字(責任区)が決定し、二年後にこの輪番制が四巡します。それ以降についてはどのような形がよいのか、昨年の夏に、各字代表者からなる三面検討委員会を立ち上げ、時間をかけて各字から意見も頂戴しながら検討をしていただきました。色々な案を考えた上で、九月十七日の馬寄せ(秋祭り打合せ)にて、区長会と氏子総代会はともに、



「三年後からの三面について」  
「ひとつの字が従来通りの輪番で責任区となり三面を運営する。選手が不足する場合は田殿地区内にかかわらず広範囲から選手が確保できるように、また、運営においても責任区から運営スタッフの協力要請があった場合は田殿全体で協力をする。」

## 総代さん手作りのしめ縄

台風二十四号がちょっと優しく通りすぎてくれたおついたち。六時から月次祭。そして小豆粥と簡単な惣菜での朝食を兼ねた直会(なおら

い)の後、総代さん方がしめ縄を作ってくれました。色々な楽しい話題に花を咲かせながら、年代物の足踏み脱穀機でわらを整え、年末に掛け替える大小三十本以上のしめ縄を詰め込んでくれました。



**お見舞いとお詫びを申し上げます**  
本年は幾度も台風襲われ、多くの方が被害に遭われました。お見舞い申し上げます。一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。当社も本殿を始め主要な建物には大きな被害はありませんでしたが、九月四日に襲来した台風二十一号により、何百年の間、夏瀬の森でお社を守ってくださったイチイガシの古大木が倒れ、地域の方々に大変なご迷惑とご苦労をおかけいたしました。謹んで



お詫び申し上げます。現在、総代様や敬神婦人会、氏子崇敬者の方々の協力もいただき、境内はほぼ回復し、秋祭りは荘厳な境内で挙行させていただきます。ありがとうございました。ありがとうございました。

## 七五三詣のご案内

子どもさんの成長を感謝し、無病息災をお祈りする七五三詣は、本年は十一月十日(土)および十一日(日)の午前九時から午後三時まで。都合の良い時間にご奉仕いたします。その日は事前のご予約は不要です。その他の日時をご希望の方は、前もってご連絡ください。

**ホームページへもお越し下さい**

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tadononjujinjya/>

TEL 五二一三三二一七